

	公表	事業所における自己評価総括表	
--	----	----------------	--

○事業所名	放課後等デイサービスはる		
○保護者評価実施期間	令和7年2月3日		～ 令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和7年2月3日		～ 令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご家族との面談や相談、子どもたちの要望をもとに1人1人にあった支援を行うことができていること	子どもたちが興味を持っていることや、保護者様からのご要望を支援のなかに反映するスピードを意識して日々の支援に	子どもたちがより、挑戦ができる環境設定を行う。より私生活の中で、手助けとなる活動を増やしていく。
2	活動内容を固定することなく、柔軟に活動を変化し、子ども主体の活動を行うことができていること。	長期休みなど、様々なことに挑戦、経験、体験することを目標として活動設定を行うことを意識している。	子どもたちがより、挑戦ができる環境設定を行う。より私生活の中で、手助けとなる活動を増やしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部との交流の機会が少ない	外部との交流の機会が少なく、保護者様からも交流の機会を必要としていないという声が上がっていること。 近隣の児童クラブなどの交流のやり方の理解がまだ完全ではない。	近隣の公民館の利用を行い、交流できる機会を伺う。 地域の方との交流の場として行っている農作業体験や、高齢者様との交流活動の内容をさらに強化していく。 近隣の中学校の職場体験の継続を行う。
2	マニュアル関係の周知を職員、保護者に対して十分にできていない。	マニュアル数が多く、なかなか理解を含めるに至っていないのが現状だと考えられる。 また、保護者様に対しては、来所する機会が少ないため、マニュアルが玄関においてあるが手に取ってもらえることが少	保護者様に対しては、計画面談の際に、新規マニュアルの報告と設置場所の周知を行うようにして、認知を高める。 職員に対しては、定期的なマニュアル周知のための研修・会議を行い、徹底して理解をできる環境を作る。
3	父母の交流の場が少ない。	保護者様を招いてのイベント、活動が少なく家族間での交流の場を設けることができなかった。	年間行事予定の中に、保護者様を招いての活動イベントをあらかじめ考え、実施し参加してもらい交流の場を増やしていく。